

臨床研究

「Uniform scanning proton therapyと腫瘍の呼吸性移動 が引き起こす相互作用を補正する新手法の性能評価」 に関する説明書

この研究内容は医療法人新明会倫理審査委員会で審議を受け、承認されたものです。

① 研究の目的と方法

Uniform scanning proton therapyは陽子線の高速スキャンビームを用いて行う放射線治療であり、古典的な方法と比べて中性子線被曝を減らすことが可能です。しかし腫瘍の厚さ方向を深い方から順次照射するため、呼吸性移動を伴う腫瘍では照射のタイミングと腫瘍の動き、両方の時間変化の相互作用が起こるため、計画通りの照射が行われない可能性があります。この相互作用を、ビームトリガーの遅延を利用して補正する方法を開発しました。本研究では肝臓の運動情報と画像情報を利用して、陽子線治療のシミュレーションを仮想上で行い、補正法の有用性を評価することを目的としています。

② 研究に用いる情報

日常診療にて得られた治療計画用 CT 画像、MRI 画像など放射線治療時に施行された画像や放射線治療に関する情報、治療計画データ、性別、治療内容、その他の臨床情報など。

③ 情報を利用する者の範囲

研究責任者および実施分担者（都島放射線科クリニック：秋野 祐一、呉 隆進）のみが、研究に係る情報を扱います。

④ 個人情報の取扱いについて

研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削除し、匿名化して研究を行います。また、研究成果は学会や論文などで発表することを予定していますが、学会、論文等で発表する場合にも個人を特定できるような内容は公表しません。

⑤ 研究のためのデータ利用を望まれない場合

研究のためにデータを利用されたくない場合は、いつでもデータの利用を中止することができます。データ利用の取りやめの希望を受けた場合、それ以降は当該患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、参加を取りやめられたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合がございますのでご了承ください。

⑥ 研究のためのデータ利用を望まれない場合の連絡方法

本研究について不明点がある場合や、研究のためのデータ利用を望まれない場合には、下記の間い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉 都島放射線科クリニック

大阪市都島区都島本通 1-16-22

研究責任者：秋野祐一

電話 06-6923-3501

平日午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00